茂田 信三 議員

天災ではない、人災だ!!

関東・東北豪雨災害について

議員
冒頭に市長へ言づけをお伝えする。「市長の無責任な対応を見て、私は常総市民であることが恥ずかしい。」と市民からである。よく覚えておいてください。
まず、9月10日の大災害は人災ではなかったのか問う。

都市建設部長
11月4日の議員全員協議会で、市長は人災という発言はしていないと明確に否定をしている。また、その中で旧石下町時代から（若宮戸の）堤防整備の要望が出ていたにも関わらず、なぜこれまで堤防整備をしてこなかったのかということについて、下館河川事務所長から以下の説明があった。平成13年と14年の鬼怒川の出水を受け、旧石下町より堤防整備の要望をいただいているが、旧石下町の自然保護活動や十一面山平地林保全整備基本計画などとの調整に時間を要し、合併後も調整に努めていたところである。

議員
14年間調整とはどういうことか。これは怠慢以外にない。首長たる者は住民の安心安全、そして命を守らなければならない。市長は十一面山保全に関連して尻込みして堤防をつくらなかったのか。若宮戸地区は無堤防のところが1キロある。そこで水を食い止めていれば、市街地には来なかっただろう。出水がわかっているのだから、明らかに人災だろう。訴訟を起こす人もいるかもわからない。堤防をつくらないでくれとか、そういう話を市長は知っていたか。

市長
そういうことは一切知らない。

議員
国交省から堤防をつくるという話はあったのか。

市長
そのようなことはなかった。

若宮戸地区溢水現場付近

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

大澤 清 議員

地域に大切な“公民館”

地域コミュニティについて

大生公民館

議員
今回の水害では、住宅のみならず地域の公民館も甚大な被害を受けた。公民館が機能しないため、住民同士のつながりが希薄になっている。改修工事をするに当たり、自宅も被災している中でさらに公民館への出費は困難だと思う。行政の手厚い補助を希望する。

市民生活部長
被災した集会施設を修繕する場合、市の補助を2分の1から3分の2に引き上げ、上限も100万円から200万円にする特例措置を検討している。

議員
地区によって被害の度合いは違う。各公民館の見積もりを出して、うまく割振りするような方法をとっていただきたい。次に、被災した市管理の公民館について問う。

教育部長
被害を受けたのは大生公民館である。

議員
天井上まで水が来て再建は困難だと思うが、市の方針は。

教育部長
年度内をめどに解体、撤去を検討している。地元の方々と相談をして場所や建て方を考えていきたい。新年度に向けて予算を要求したいと考えている。

議員
今回の水害により被災した公園の状況について尋ねる。

都市建設部長
清掃・消毒・修繕等の作業が終わり次第、順次開放している。

議員
あすなろの里にアスレチック等の遊具を設置してはどうか。市外からも足を運んでいただけ、活性化にもつながる。

産業労働部長
検討させていただきたい。

掲載できなかった質問 ・空き家対策について